

「飯南町に住んで」

飯南町井戸谷 荻野 英明

私は、平成12年10月に京都から来ました。

よく聞かれます。「何も無い所なのに、どうして来たの?」って。

満天の星空、澄んだ空気や美味しい野菜など、都会には無いものが飯南町にはたくさんあり、とても環境のよい所です。

最初は言葉(鳥根弁)もわからず、知人や相談出来る相手もいなかったため、暮らせるかどうか不安でしたが、産業体験先のぼたん園やりんご園の方々に親切にして頂いて、とても助かりました。

また、そういう所で働いていたので、飯南町の方々とも顔を合やす機会が多くて、道を歩いていると「あ、りんご園の人。おはよう」と、名前がわからなくても気軽に声を掛けてもらえるのがうれしかったです。

今では子供を通じて色々な人たちとの交流も増え、鳥根弁も



手つめたくない? ううん

理解し、借家の畑で美味しい野菜も作り、忙しいですが毎日とても楽しく暮らしています。

もう8年が経ちましたが、今でも満天の星を眺めると、ここに来た時の新鮮な気持ちを思い出します。

その最初に来た時の感動を忘れずに、飯南町でいつまでも楽しく暮らして行きたいと思います。

寄稿 飯南町への想い



家族も5人になりました



自治功労者表彰受賞

2月24日に開催された島根県町村議会議長会定期総会において、若林達治議員は15年以上にわたる議員活動に対し、全国町村議会議長会から表彰を受けました。

また、那須徳士輝議長が議長在職6年以上として島根県町村議会議長会から表彰を受けました。

そして、石橋宏議員、小野覚議員、難波俊司議員、伊藤好晴議員が、12年以上にわたる議員活動に対し、島根県町村議会議長会から表彰を受けました。



石橋 宏 議員



那須 徳士輝 議長



若林 達治 議員



伊藤 好晴 議員



難波 俊司 議員



小野 覚 議員

本田哲三議員が辞職

4月8日付をもって、一身上の都合で飯南町議会議員を辞職されました。

編集後記

三月議会の最終日は、待じゃパンが韓国を5-13で振り切り、世界の頂点にたち、日本中を沸かせ、スポーツの素晴らしさにあらためて感動した記念すべき日でありました。

さて、議会は9日から始まり、一般質問には8人が立ち、その内4人の議員が農業問題にふれていました。

本年一月の大雪では、パイプハウス等農業施設に大きな被害が発生し、また米価の下落、畜産の価格低迷等、本町の人口減少の要因となる恐れがあります。

長年に亘り、おき去りにされてきた田舎へも内閣がかわり、目を向けられ始めています。

報道によると、鳩山総務相は農山村の疲弊を防ぐため「都市から農村への人の流れをつくりたい」と述べ、過疎地域の活性化に力を入れる考えを示しています。

この意気込みを信じ、実現を強く願っているところです。日本経済を活性化させるためには、農業を柱に位置付けることが基本であり、「田舎はいいぞ」といえる町づくりとその時代の来ることを期待しながら、春よ来い、早く来い。

議会広報編集委員会

石橋 宏